

様式第 4 号

課題名	リウマチ・膠原病における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)レジストリ” Rheumatology COVID-19 Registry” を利用した多施設共同観察研究
承認番号	2020-13 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 リウマチ科 氏名 萩山 裕之
研究期間	(西暦) 2020 年 6 月 ~ (西暦) 2023 年 4 月
研究の意義・目的	リウマチ・膠原病を基礎疾患に有する患者様における COVID-19 の診療の現状・問題点を明らかにすることを目的とします。 この研究で得られる成果は、今後のリウマチ・膠原病患者に対する感染予防対策、COVID-19 に対する治療計画の作成、予後の予測をすることにつながります。
研究の方法 (対象期間含む)	この研究は、当院の倫理委員会の承認を得て実施するものです。 対象者：2020 年 1 月から 2023 年 4 月末までに当院で、リウマチ・膠原病を有する COVID-19 患者。 方 法：この研究は、多施設共同研究です。Rheumatology COVID-19 Registry (以降、本研究用データベース) は、世界各国のリウマチ科医有志が中心となったグループが、リウマチ・膠原病患者における COVID-19 の情報収集を目的として設立しました。本研究用データベースを用いた研究は、ヨーロッパリウマチ学会やアメリカリウマチ学会をはじめとする 100 以上の世界各国の学術集会からサポートを受けています。本研究用データベースに、診療録 (カルテ) から抽出した情報を、匿名化したうえで登録し、日本人データを解析するとともに、国外データとの比較を行います。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	診療録 (カルテ) から抽出した上記の情報を、あなたの個人情報が分からないように匿名化してレジストリに登録、保管します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	①性別、COVID-19 発症時の年齢、喫煙状況、②COVID-19 の症状、臨床所見、合併症、治療状況、③基礎疾患であるリウマチ・膠原病の病名、併存疾患、活動性、治療状況
試料・情報を 利用する者の範囲	データベースおよび本研究にかかる共同研究者
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	当院 横浜市立みなと赤十字病院 リウマチ科 萩山裕之 研究代表 東邦大学医療センター大森病院 膠原病科 南木敏宏
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 リウマチ科 氏名 萩山裕之 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101